

課題対応取組み報告書

名称 城東・放出地域包括支援センター

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設（居場所づくり等）
	<input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援	<input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
活動テーマ	アフターコロナの時代に応じた新たな地域福祉・ネットワークの構築	
地域ケア会議から 見えてきた課題	1、地域で孤立している高齢者が認知症を発症したため生活が困窮し、支援介入を進めるが拒否がありスムーズに支援を進めることができず、そのことへのアプローチが必要。 2、家族に何らかの精神疾患・障がい・パーソナリティの問題があると支援介入拒否となり、関係機関や地域との協働での支援体制を整えることが必要。 3、地域高齢者と地域との接点であった集い場が減ったままの状態、地域役員やボランティアなどの担い手不足にて、再開の目処が立っておらず地域福祉の拠点不足を補う必要がある。	
対象	地域住民、地域役員、関係機関（行政、各事業、各サービス事業所、各医療機関等）	
地域特性	諏訪地域は、高齢者数、認知症高齢者の増加や相談も増加している。東中浜地域は高齢化率は区内平均近く、放出地域では高齢化率が20%過ぎ、今福南地域では高齢化率が40%を超えている。どの地域も数字の差はあるが、独居高齢者で身寄りなく認知症や精神疾患などから理解力の低下があり支援の介入困難ケースが散見。	
活動目標	①認知症や精神疾患に対する啓発活動にて地域で孤立した高齢者の早期発見、協力対応の土台作り ②地域役員・関係機関とともに研修、事例検討会を行い、アフターコロナを迎える地域の実情の把握と連携を検討 ③地域の高齢者との集う場を地域役員や事業担当者として協働し展開	
活動内容 (具体的な取組み)	活動①認知症や精神疾患に対する啓発活動（認知症サポーター養成講座実施実績） ・城東ちどり園(参加職員49名)・東中浜地域高齢者見守り隊勉強会（参加住民36名） (地域への啓発活動)・東中浜地域「発達障がいを知ろう講演会」協働開催：50名以上参加 ・諏訪・東中浜合同地域人権学習会にて「認知症の理解と接し方のポイント」講演実施：50名以上参加 ・今福夏祭り・東中浜秋祭り・諏訪地域「敬老フェスタ」にて包括の周知・認知症や人生会議について広報活動 活動②権利擁護および連携にかかる取り組み活動（令和4年度 権利擁護連絡会実施実績） ・「支援関係者向け 高齢者見守り活動のポイント講座」・「多職種連携支援ケース事例検討会」 活動③ウィズコロナにおける集い場作りへの取り組み活動 ・認知症予防活動の継続：東中浜地域（月二回）、放出地域（月一回）において認知症予防活動を継続。 「みんなの認知症予防ゲーム」や大阪城ウォーキング、介護予防ミニ講座などを実施した。放出地域の「放出よっといで広場」を共催し、今福地域においては地域役員と協働「スマホ教室～オンラインふらっとサロン」を定期開催を継続した。家族会・他地域においても「スマホ教室」を定期的に開催し、一部LINE公式アカウントの立ち上げができた。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	活動①▶認知症や精神疾患に対する啓発活動・認知症サポーター養成講座の実施： コロナ禍の中でも認知症や精神疾患、発達障害などへの疾病の理解と協力推進の為に認知症サポーター養成講座や講演会の、地域住民や地域の民間法人からの依頼が増えた。 活動②▶権利擁護連絡会の定期開催：連絡会を対面で2回開催。令和4年度は医療機関も加え、地域や各関係機関・他包括の参加があった。 活動③▶コロナ禍でも認知症予防活動を地域との協働で開催を継続できた。また、集い場がなくなった地域でも二重のあるスマホ教室を通しての高齢者との交流と認知症予防、閉じこもり予防にもつなげた。	
今後の課題	特に令和4年度は精神疾患等に伴う症状にて、本人および家族の対応に苦慮することが多い傾向にあった。それはコロナ禍における社会の構造の変化や、医療および福祉の体制の変化が、各個人および世帯へ影響していると思われる。更なる専門職の対応力の向上および関係機関、地域役員と連携の在り方の見直しは課題であると思われる。また、少子高齢化の影響から、地域活動の担い手不足によるインフォーマルサービスの推進も停滞している現状があり、限られた環境や人的な資源をどう活かし効率よく進めていくかが課題である。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 5年 7月 12日 (水)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント	認知症や精神疾患に対する啓発活動や、今福夏祭り・東中浜秋祭り・諏訪地域「敬老フェスタ」にて包括の周知、ウィズコロナにおける集い場作りへの取り組み活動として、認知症予防活動の継続「みんなの認知症予防ゲーム」や大阪城ウォーキング、介護予防ミニ講座などを実施した。 放出地域の「放出よっといで広場」を共催、今福地域においては地域役員と協働「スマホ教室～オンラインふらっとサロン」を定期開催、家族会においても「スマホ教室」を定期的に開催し、一部LINE公式アカウントの立ち上げ等良い取り組みである。	
* 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議会 からの意見等を記載。		